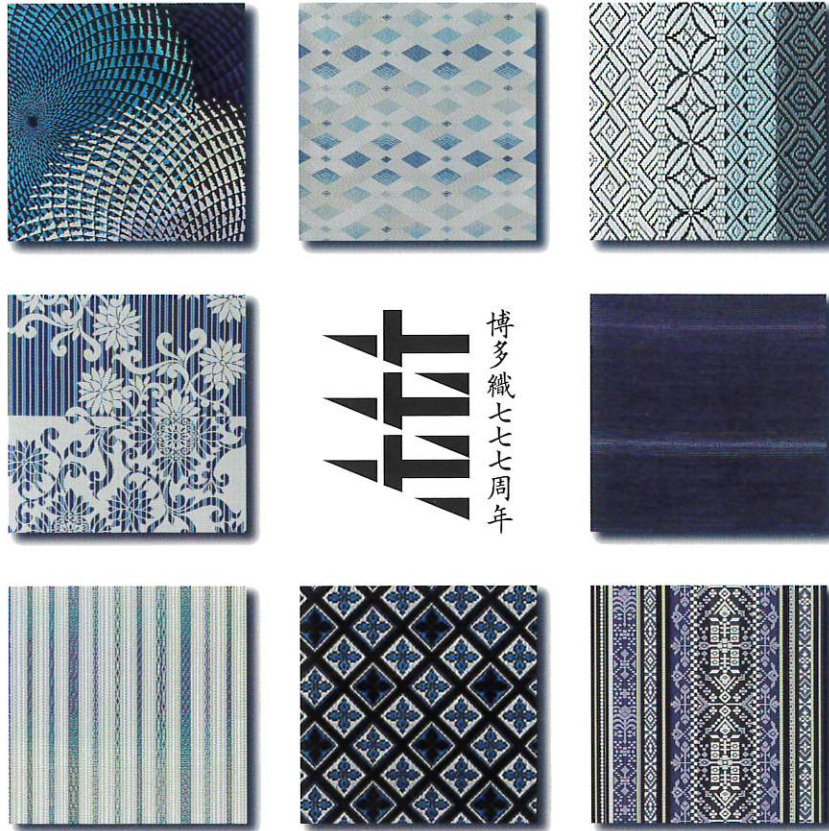


博多凜然

伝統と革新、新たなる創造へ——。



博多織新作発表会 一般公開

第116回

博多織求評会

2018年11月9日金 > 11日日
10時～17時（日曜日は15時まで）

博多織発祥の地 萬松山 勅賜承天禪寺

アクセス ■西鉄バス…「祇園町」から徒歩5分 ■福岡市営地下鉄空港線…「祇園町」4番出口から徒歩5分

住所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目29-9



主催
博多織工業組合
(博多織777周年記念特別事業委員会)

お問い合わせ
☎092-409-5162
FAX:092-409-5086 MAIL:info@hakataori.or.jp

博多織工業組合
Webサイト



博多織工業組合
Facebookページ



商標登録 **博多織** 登録 第5031531



博多織には証紙が必ず貼付されています。

第116回
博多織求評会

博多の代表的な工芸品である博多織。その歴史は鎌倉時代までさかのぼり、博多の人と街の中で数々の物語が生まれ、現在に至っています。さて、今年博多織は777周年という記念の年を迎えることができました。本年度は777周年記念事業として第116回博多織求評会を下記日程で開催致します。会場では展示の中から好きな新作博多織に投票したり、承天禅寺の境内で博多に伝わる茶道南坊流による野点(のだて)のおもてなしで、抹茶やお菓子の接待(有料)など日頃味わう事のできない体験が待っています。皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。また、着物でお越しの方には粗品をプレゼントいたします。

博多の凜、京の雅に、江戸の粋

凜とした、博多の風が吹く晩秋の承天禅寺へお越しください。

今年の新作博多織求評会の作品を見ていただき、中庭でのふすべ茶をお楽しみください。このふすべ茶(野点)は豊臣秀吉が1587年6月18日、九州平定の帰路に博多宮崎の松原にて松の木に雲龍の釜を掛け、千利休が茶の湯をもてなしています。秀吉公は大変喜ばれて、和歌「あつま日に、この木のもとに立ちよれば、波の音する松風そふく」と詠まれています。この博多でのふすべ茶が、その後の北野の大茶会のもとになったと聞いています。博多織も「献上博多」として黒田藩より一時、品質・生産・等管理され幕府への献上品として品格を高めています。茶道・南坊流も同じ黒田藩の茶道として博多の地で継承された茶道ですので、博多織求評会に協賛させて頂いております。また、南坊流は茶席の装として、地元博多の凜とした、博多織の作品を茶道の中に取り入れて、博多織からの和文化の発信を続けて参ります。

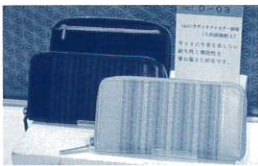
この機会にぜひ一度、美しいお庭を拝覧になって都会の中のアオアシス、静寂の中で有意義なひとときをお過ごしください。一同、心よりお待ちしております。

茶道南坊流



博多織小物の展示

「博多織小物の展示」を実施します。かわいい小物から実用的なものまで多数展示。



博多芸妓による* 芸の技を披露

【日時】
平成30年11月10日(土)
一回目 午後1時30分~
二回目 午後2時15分~
【場所】
承天禅寺 本堂



入場無料

- 野点席(ふすべ茶)は「承天饅頭と抹茶」で500円です。
- 着物でご来場の方には粗品をプレゼント。
- 新作博多織の投票に参加された方の中から抽選で博多帯や小物をプレゼント。

■日時
2018年11月 **9日** (金) > **11日** (日)
9日(金) … 午前10時~午後5時
10日(土) … 午前10時~午後5時
11日(日) … 午前10時~午後3時

■会場
博多織発祥の地 萬松山 勅賜承天禅寺

博多織は承天禅寺を開山した聖一國師(しょういちくし)と共に中国・宋に渡った満田弥三右衛門(みつたやざえもん)が織物の技術を持ち帰ったのが始まりといわれています。



所在地
福岡市博多区博多駅前1丁目29-9

アクセス 公共の交通機関にてお越しください。
■ 西鉄バス … 「祇園町」から徒歩5分
■ 福岡市営地下鉄空港線
「祇園」4番出口から徒歩5分

